
小説版 リリカル銀魂映画宣伝トーク

烈火竜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小説版 リリカル銀魂映画宣伝トーク

【Nコード】

N4370K

【作者名】

烈火竜

【あらすじ】

『魔法少女リリカルなのはザ・ムービー』の宣伝CNを観て思いつきました。

(前書き)

人気アニメの映画化を記念して書いた短編をどうぞ！

ここで銀魂キャラクターとリリカルなのはキャラクターで互いの映画宣伝をさせてみました。

【銀時とフェイト】

フェイト

「ねえ、銀時知っている？」

銀時

「何が？」

フェイト

「もう、『魔法少女リリカルなのはザ・ムービー』のことよ」

銀時

「ああっ、映画ね」

フェイト

「舞台は十年前の私達の世界だよ」

銀時

「こん時はまだ十歳だったな、なのはとお前」

フェイト

「うん。……可愛い？」

銀時

「ああっ、今でも変わらないよ」

フェイトは赤くなる。

銀時

「それに比べて、なのははどうよう。こんな無邪気な少女が、十年後に『白い魔王』になってしまっただよ。どうやらこの頃から頑固者でわがままらしい。十年経つうちに傲慢で堅物に変貌したんだな。見た目が美人でナイスバディなのに、内面がな……。時の流れは残酷なんだよな」

フェイトがいつの間にかいなかった。

銀時

「あれ？」

そして、銀時の後ろにレイジングハートを構え、『白い魔王』オーラを放ったのはが立っていた。

銀時

「いやー、この頃からなのはちゃんは可愛いよな！さすが主人公！」
なのは

「遅いよ。……銀さん、思いつきり頭を冷やそうか？」

銀時

「あああああああ！！！」

ドカーーーーーン！

見事に『スターライトブレイカー』を銀時に放ったなのは。

フェイト

「と、とにかく『魔法少女リリカルなのはザ・ムービー』を是非観て下さいー！」

【近藤とキャラ】

キャラ

「銀魂が遂に映画になりましたね」

近藤

「その通りだ！その名も『劇場版 銀魂 新訳紅桜編』だ！」

キャラ

「楽しみですね」

近藤

「ああつ！何よりも楽しみなのは、お妙さんだ！劇場版のお妙さんも美しい！何も言わずに黙って万事屋（銀時）を行かせるところが健気だ！」

キャラ

「そうですね」

近藤

「看病するお妙さんは天使のようだ！俺も看病されたい！」

キャラ

「あのう……」

近藤

「『劇場版 銀魂 新訳紅桜編』のメインヒロインはお妙さんだ！

俺の心のヒロインはすでにお妙さんだ！お妙さんに会いたいなら、

是非『劇場版 銀魂 新訳紅桜編』を観に来てくれ！」

キャラ

「……もう映画の宣伝じゃなくて、お妙さんの宣伝ですね」

妙

「ほんとよね」

近藤

「あつ、お妙さん」

妙

「人を勝手に、ゴリラの心のヒロインにすんじゃあねえよ！」

バキッ！

近藤

「はぶっし！」

妙の鉄拳にぶっ飛ばされる近藤。

キャロ

「と、とにかく『劇場版 銀魂 新訳紅桜編』をよろしくお願いします！」

【ティアナと屁怒組】

屁怒組

「『魔法少女リリカルなのはザ・ムービー』は感動です。一生懸命なのはちゃんとお母さん想いのフェイトちゃんが互いの決意をぶつけ合う。コレは別の見方をすれば悲しいです！」

ティアナ

「そ、そうですね」

屁怒組の泣き顔を見て、怯えるティアナ。

屁怒紹

「感動と涙の『魔法少女リリカルなのはザ・ムービー』、絶対観て下さい」

ティアナ

「見ます見ます見ます！」

ティアナは怯えながら誓う。

【ギンガと定春】

ギンガ

「銀さんが鬼兵隊の高杉に刺される！？紅桜に取り付かれた兄妹の運命は！？この結末は『劇場版 銀魂 新訳紅桜編』をご覧ください……」

ガブリ…。

ギンガ

「いや、前が真っ暗！？」

定春はギンガにかぶりつくのだった。

【ヴィヴィオと土方】

トッシー
土方

「劇場版の小さいなのはちゃんもフェイトちゃんも可愛い！萌える！」

ヴィヴィオ

「ほんとだね」

トツシ
土方

「ああん、注がれる……」

ヴィヴィオ

「土方さん、『魔法少女リリカルなのは』が好きなんだね」

土方

（トツシー、引っ込んでいろ！）

元の人格に戻る土方。

ヴィヴィオ

「土方さん、一緒に」

土方

「あ、ああっ……」

ヴィヴィオ

「なのはママとフェイトママの出会った物語『魔法少女リリカルなのはザ・ムービー』」

土方

「絶対に観なよ！」

ヴィヴィオ

「土方さん、『リリカルマジカル 頑張ります！』って言って」

土方

「……マヨリンマヨリン マヨネーズ！……じゃあ駄目か？」

ヴィヴィオ

「……全然駄目だよ」

【新八とリインフォース】

新八

「遂に銀魂が映画化！その名は『劇場版 銀魂 新訳紅桜編』！」

リインフォース

「そうですね」

新八

「何度も苦情が殺到したあの『銀魂』が映画化するなんて、凄いな」

リインフォース

「そうですね」

新八

「物語は『紅桜編』！本編に出なかった真選組や神楽ちゃんの兄、神威も登場するから凄いですよね」

リインフォース

「そうですね」

新八

「そして銀さんの活躍は見逃せませんね」

リインフォース

「そうですね」

新八

「……あのうリインフォースさん。他に言うこと無いんですか？」

リインフォース

「……………新八さん、うざいです」

新八はショックを受けるのだった。

【ザフィーラとお登勢】

ザフィーラ

「感動と魔法の物語『魔法少女リリカルなのはザ・ムービー』」
お登勢

「絶対に観なよ。……リリカルマジカル頑張り！うふっ」

ザフィーラ

「うっ……」

お登勢

「なんだい、その顔は？（怒）」

ザフィーラ

「あっ、いえ……」

ザフィーラはお登勢の睨みに怯えるのだった。

【シグナムと桂】

シグナム

「遂に銀魂が映画化になりましたね、桂殿」

桂

「ああつ。その名は『劇場版 銀魂 新訳紅桜編』。高杉よ、俺達の時間はあの日で止まったままなのか……」

シグナム

「果たして銀時殿と桂殿は高杉の野望を止められるか？」

桂

「結末は劇場で！そして、俺と一緒に攘夷活動を……」

シグナム

「お客様を犯罪者にしないで下さい！」

【神楽とエリオ】

エリオ

「小さい頃のフェイトさんやなのはさんの出会い『魔法少女リリカルなのはザ・ムービー』が遂に公開」

神楽

「パンチラあり、裸で変身シーンあり。ロリコンには堪らない美女アニメ映画ネ。たっぷり観やがれロリコン共」

エリオ

「ちよつと神楽さん！なんて宣伝をしているですか!？」

神楽

「客寄せの為ネ。それに嘘偽り無い事実アル。それよりエリオ」

エリオ

「何ですか？」

神楽

「ロリコン系少女のフェイトと乳でかい大人のフェイト。どっちが好みアルか？」

エリオ

「なっ……………」

神楽

「白状するネ」

エリオ

「えっーと…………。『魔法少女リリカルなのはザ・ムービー』をよろしくー!」

神楽

「ごまかすじゃあねーよ」

【スバルと沖田】

スバル

「『劇場版 銀魂 新訳紅桜編』なんか凄そうですね」

沖田

「そうだな」

スバル

「銀さんと岡田似蔵のバトルが目が離せませんね！」

沖田

「旦那って、こんなことやってたんだな」

スバル

「そういえば、沖田さん達真選組も出るんですよ？何するんですか？」

沖田

「それは劇場版でわかる」

スバル

「真選組の動向は『劇場版 銀魂 新訳紅桜編』を観て確かめて下さい！」

沖田

「くうー……」

スバル

「って、沖田さん寝ないで下さいよ！」

【はやてと九兵衛】

九兵衛

「幼きフェイトの信念と」

はやて

「幼きなのはちゃんの願いが」

はやて / 九兵衛

「ぶつかり合う！」

はやて

「『魔法少女リリカルなのはザ・ムービー』」

九兵衛

「感動の結末を見届けてくれ！」

はやて

「次は『闇の書』も映画化かな……」

九兵衛

「その時は、妙ちゃんと観に来るよ」

はやて

「ありがとう」

【シャマルとエリザベス】

シャマル

「『劇場版 銀魂 新訳紅桜編』楽しみですね？」

『そうですね』とプラカードで表すエリザベス。

シャマル

「あの『紅桜編』の劇場版だから期待できますね」

『しかも、原作に出ないキャラクターも登場ですからね』とプラカードで表すエリザベス。

シャマル

「……喋って下さいよ」

『春の映画は『劇場版 銀魂 新訳紅桜編』を是非観て下さい!』

シヤマル

「だから喋って下さい!」

【ヴィータと星海坊主】

ヴィータ

「小さい頃のなのはが活躍する『魔法少女リリカルなのはザ・ムービー』絶対に観やがれ!」

星海坊主

「今と昔を比べると、あまり変わんねーな、なのはちゃんは……」

ヴィータ

「そうそう、あなたの頭とは大違いだよな」

星海坊主

「そう、俺の頭とは大違い……。んだとコラー!」

【なのはと妙】

なのは

「さてと……」

妙

「最後は私達二人の……」

二人は先ほど出ましたので、おしまいになります。

なのは／妙

「ちよつと待てよオイ!？」

『魔法少女リリカルなのはザ・ムービー』と『劇場版 銀魂 新訳 紅桜編』。
どっちもお楽しみに

(後書き)

なのは達の楽しいトークに銀さんを入れたらどれだけ楽しくなるのかな。

と考えて、書いてみました。

これで感想が来たら嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4370k/>

小説版 リリカル銀魂映画宣伝トーク

2010年10月10日02時45分発行